

⑥3 国道249号隆起海岸を活用した 被災地支援のための緊急復旧道路

受賞機関 国土交通省 北陸地方整備局 能登復興事務所

キーワード 緊急復旧道路、隆起した海岸

全建賞審査委員会の評価ポイント

令和6年能登半島地震で通行不能となった国道249号（輪島市野田町）では、隆起した海岸部を活用し、一車線の道路を整備し、緊急車両の通行を確保した。能登半島地震からの道路復旧に当たり、地域の生業の再建などと連携した取組であった点が評価された。

1. はじめに

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、多くの道路が通行不能となった。幹線道路である国道249号の通行を、1日でも早く確保することが復旧・復興のためにも最重要であった。国道249号（輪島市野田町、以下「千枚田工区」という。）には、1,004枚の田んぼが連なる「白米千枚田」（世界農業遺産、国指定名勝）が隣接しており、耕作機も入れないほど狭い田んぼでは手作業で田植えが行われていた。復興のシンボルとして、地域の生業であるこの田んぼでの田植えを再開したいという強い思いが地元から寄せられていた。

2. 事業の概要

能登半島は丘陵地が多く、海岸部は断崖が連続する。国道249号は能登半島の海岸部を巡り、主要な地域を結ぶ唯一の幹線道路であり、生活道路や観光道路としても重要な路線である。千枚田工区では、地震による大規模斜面崩壊のため土砂が流出し通行不能となった。

本事業は、地震の影響で隆起した海岸という極めて珍しい事象に着目した。隆起した海岸は岩礁で十分な強度を有していたことから、緊急復旧道路の設置が可能と判



崩壊地を避け、隆起した岩礁の上に造られた緊急復旧道路

断し、延長約800mの設計・工事に着手した。設計・工事は、北陸地方整備局の災害協定を活用することで、早期に進めることができた。

地震発生からわずか4ヶ月後の令和6年5月2日には、一車線で緊急車両及び地元住民の通行が確保され、千枚田工区の通行不能が解消された。

海岸部を活用した道路であったことから、波浪・高波による通行止めが想定されたため、同日に事前説明会を開催し、地元住民の方々や行政機関に注意点を周知した。



事前説明会で職員の説明に耳を傾ける地元住民と関係者

3. 事業の成果

緊急復旧道路を整備することで大きな迂回が不要となり、輪島市街地まで所要時間が最大約2時間を要していた地域では、約30分に短縮された。

また、本事業により、地震後初となる白米千枚田での田植えを再開することができた。復興のシンボルとして地域の活動を応援するとともに、輪島市全体の方々に喜んでいただき、テレビ5社、新聞6社により報道され、全国から大きな注目を集めた。

4. おわりに

復旧・復興につながる重要な社会資本である道路として、引き続き復旧を進めることで、能登地域の更なる活性化と創造的復興が期待される。

「さあ、復興のとき今」

賛助会員 清水建設(株)、日本工営(株)